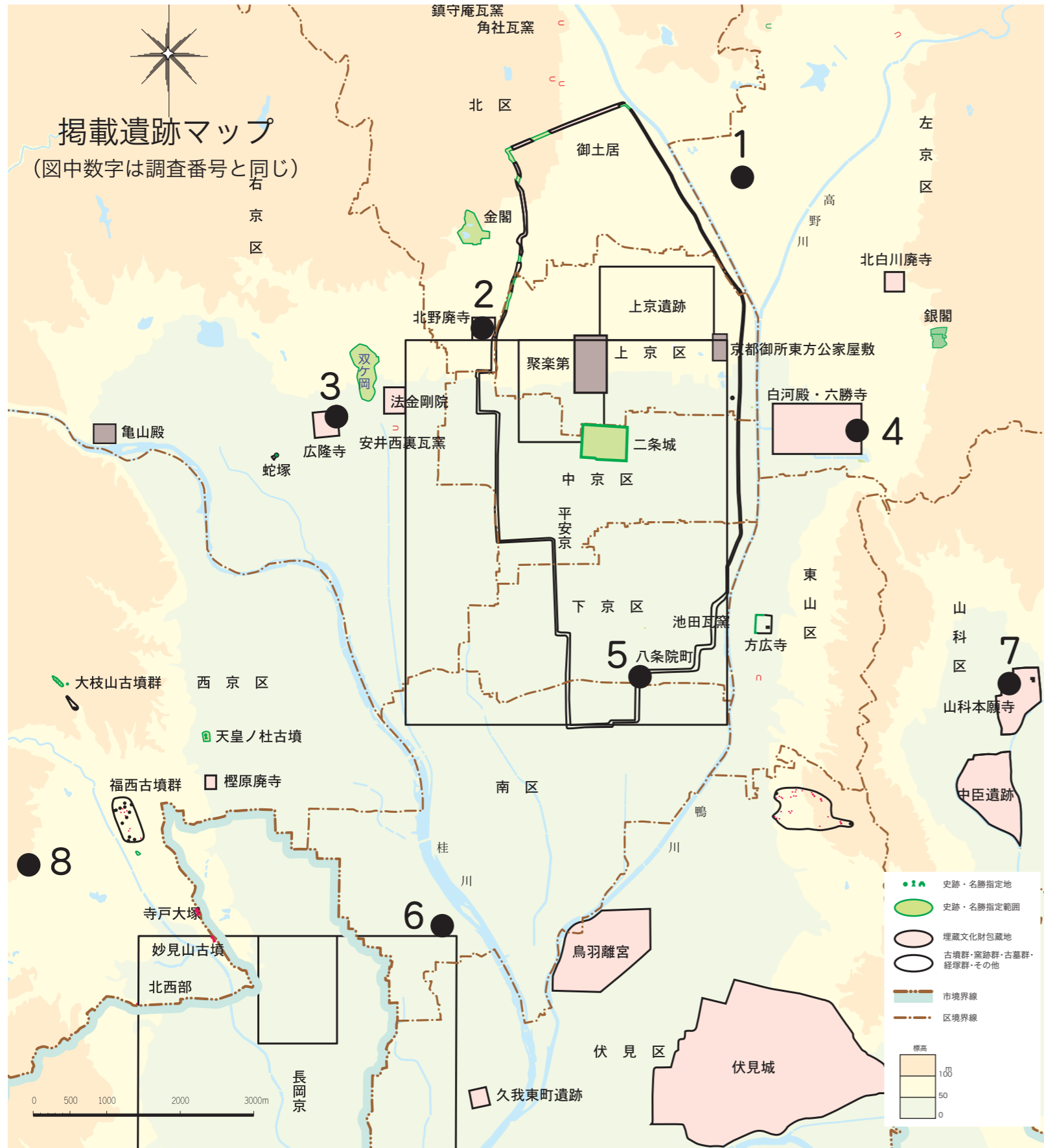


「2010 年をふりかえって」

(財)京都市埋蔵文化財研究所
調査課長 吉崎 伸



< 調査名 >

- 1、植物園北遺跡
- 2、北野廃寺
- 3、太秦地区
村ノ内遺跡・常盤仲之町遺跡・広隆寺旧境内
- 4、法勝寺跡
- 5、教王護国寺(東寺)旧境内
- 6、大藪遺跡・大藪城跡
- 7、山科本願寺
- 8、勝持寺旧境内

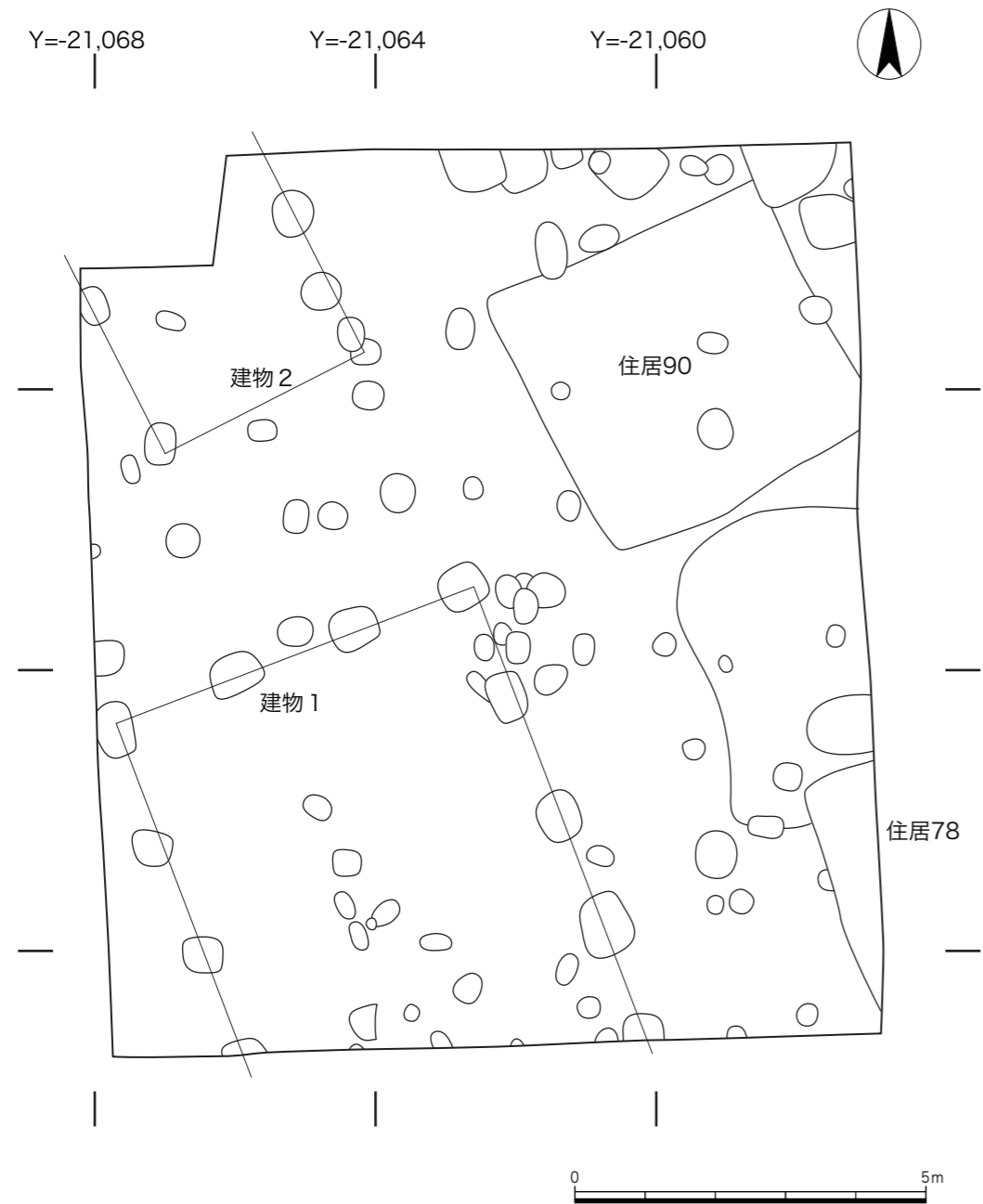
植物園北遺跡発掘調査現地公開資料

2011年1月8日

調査地 京都市左京区下鴨北園町5、6

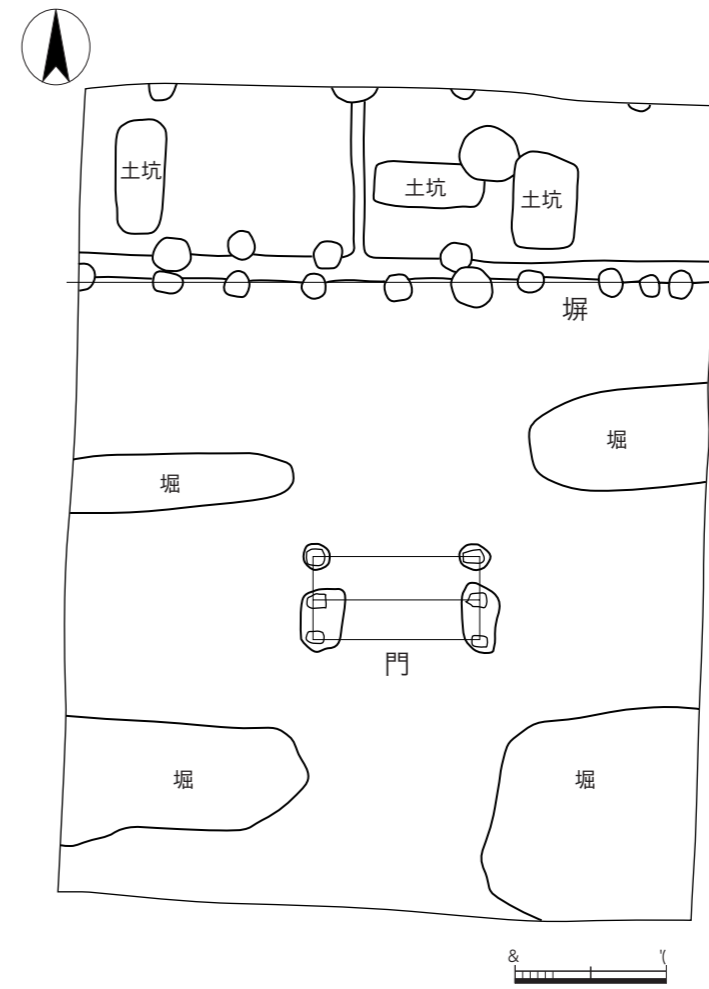
調査面積 約150㎡

調査期間 2010年12月20日～2011年1月14日



北野廃寺・北野遺跡 現地公開資料

2010年10月21日



調査区全景 [室町時代] (南から)

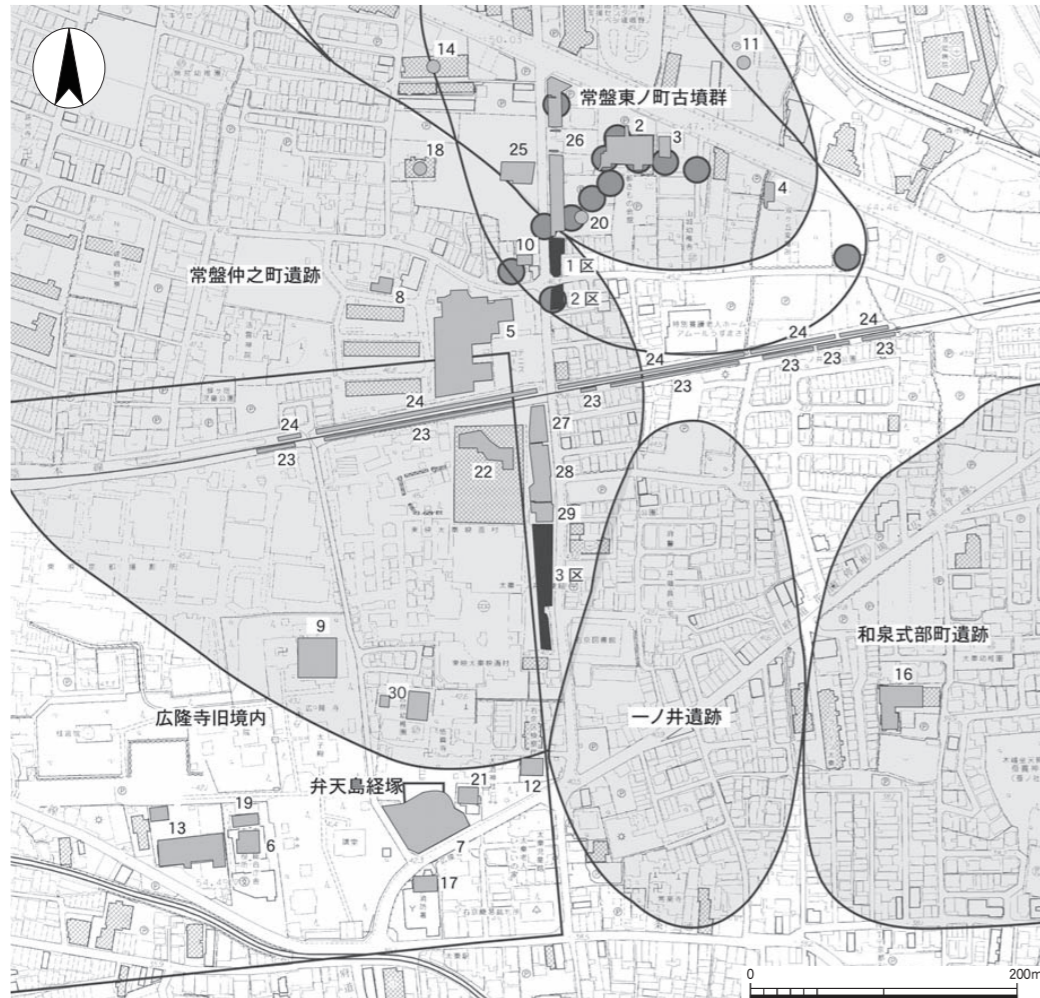


調査区全景 [平安時代] (南から)

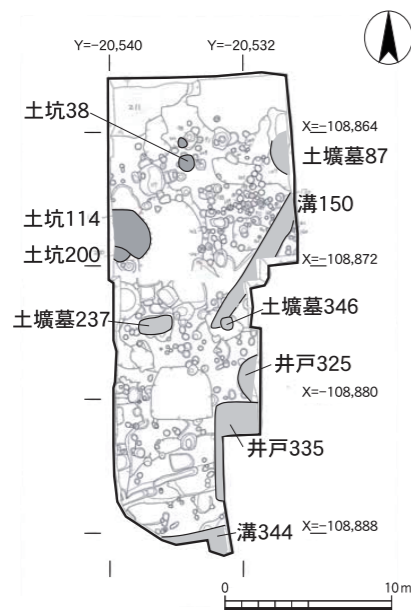
ときわなかのちょういせき ときわひがしのちょうこふんぐん
常盤仲之町遺跡・常盤東ノ町古墳群

梅津太秦線限度額立体交差事業に伴う埋蔵文化財発掘調査現地公開資料
 平成23（2011）年2月19日（土）

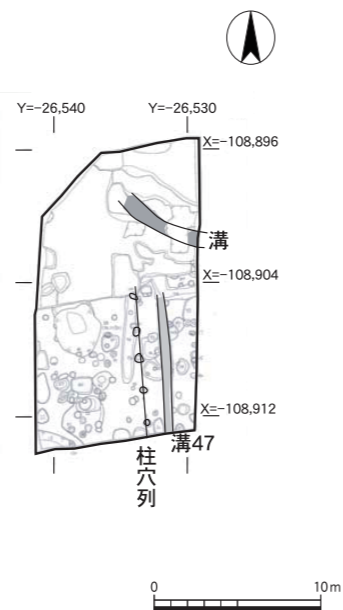
調査地 京都市右京区太秦東蜂岡町他 地内
 調査期間 平成22（2010）年11月22日～平成23（2011）年3月11日（予定）
 調査面積 1,343㎡（1区：250㎡、2区：163㎡、3区：930㎡）



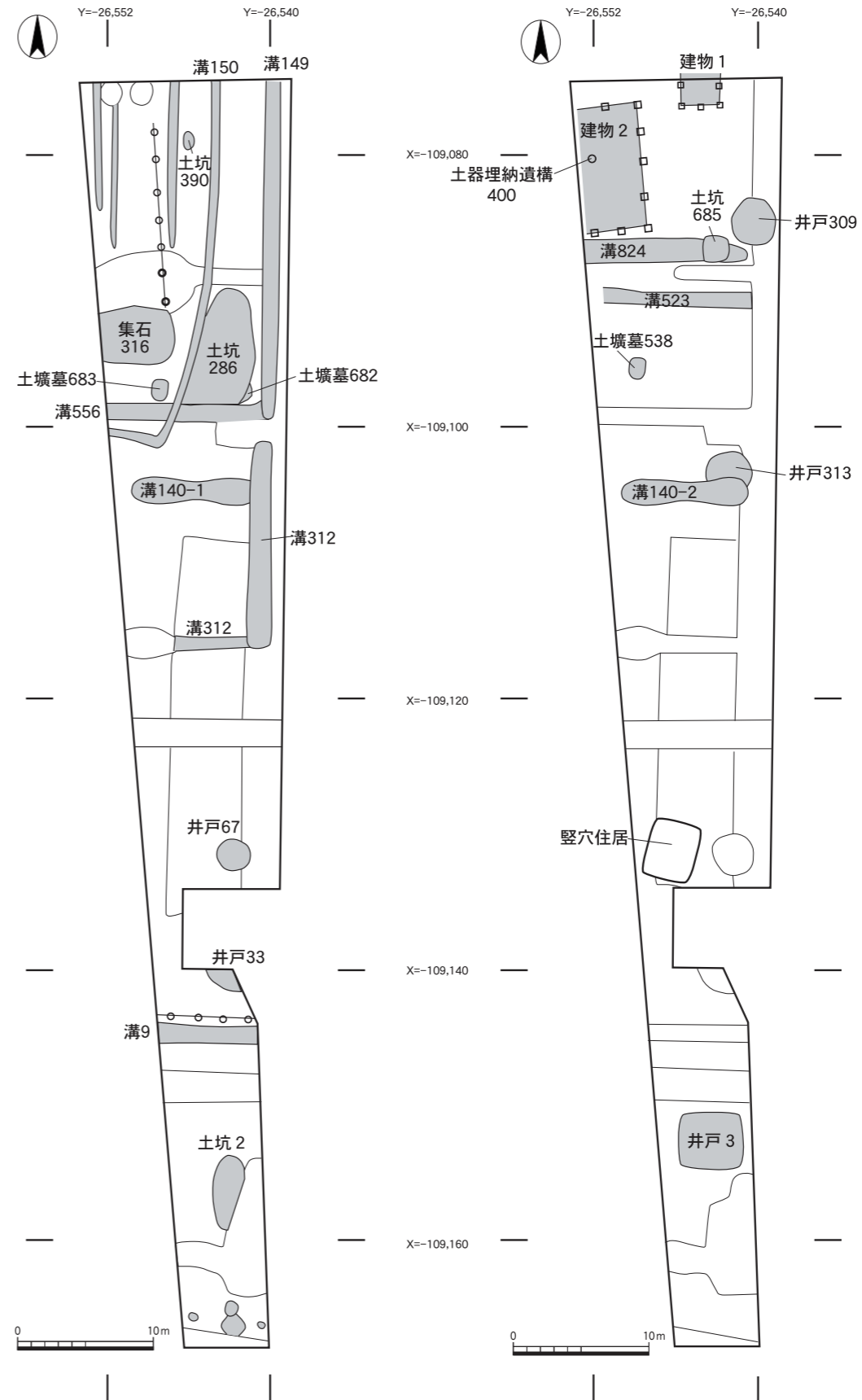
調査地位置図



1区平面図



2区平面図



3区第1面平面図
 (鎌倉時代～室町時代)

3区第2・3面平面図
 (古墳時代後期～飛鳥時代・平安時代)

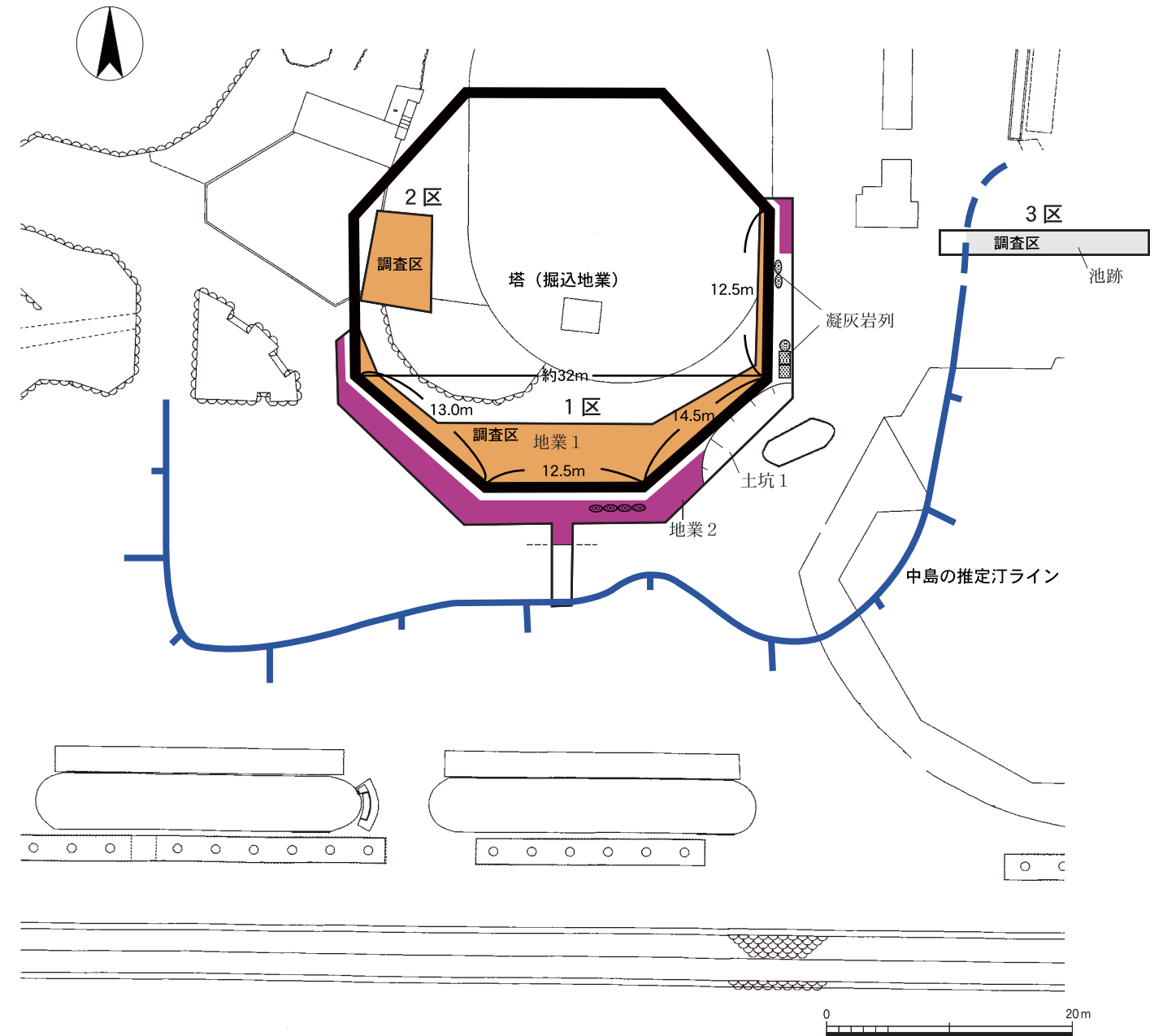
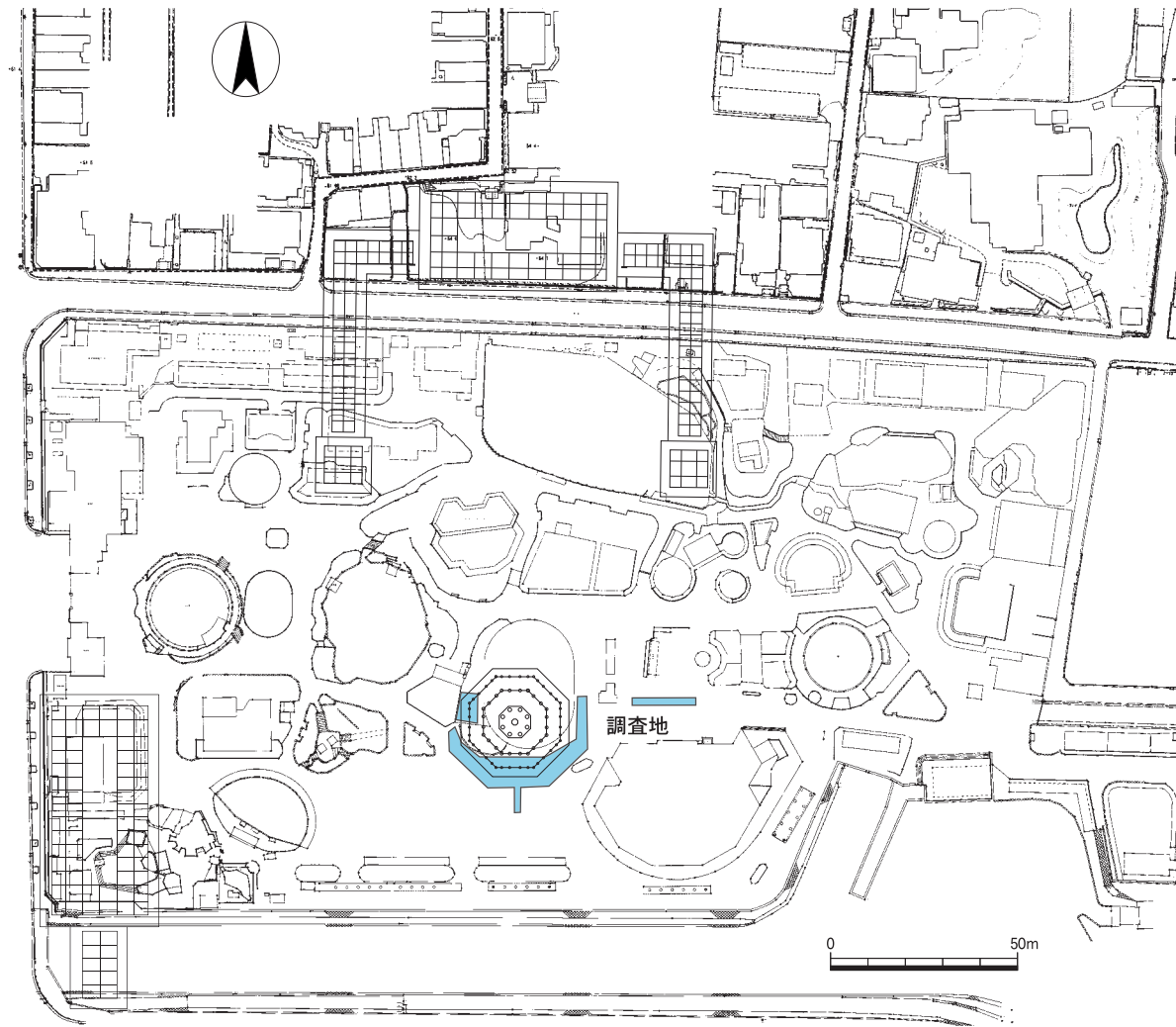
法勝寺八角九重塔跡発掘調査現地説明会資料

2010年6月26日

所在地：京都市左京区岡崎法勝寺町（京都市動物園内）

調査面積：約380㎡

調査期間：2010年5月17日～2010年7月12日（予定）



調査区配置図

教王護国寺（東寺）境内現地公開資料

平成 22 年 11 月 20 日（土）

遺跡名：史跡教王護国寺境内（平安京左京九条一坊十三・十四町跡）

調査地：京都市南区九条町

調査期間：10月18日から継続中

調査面積：約 160m²

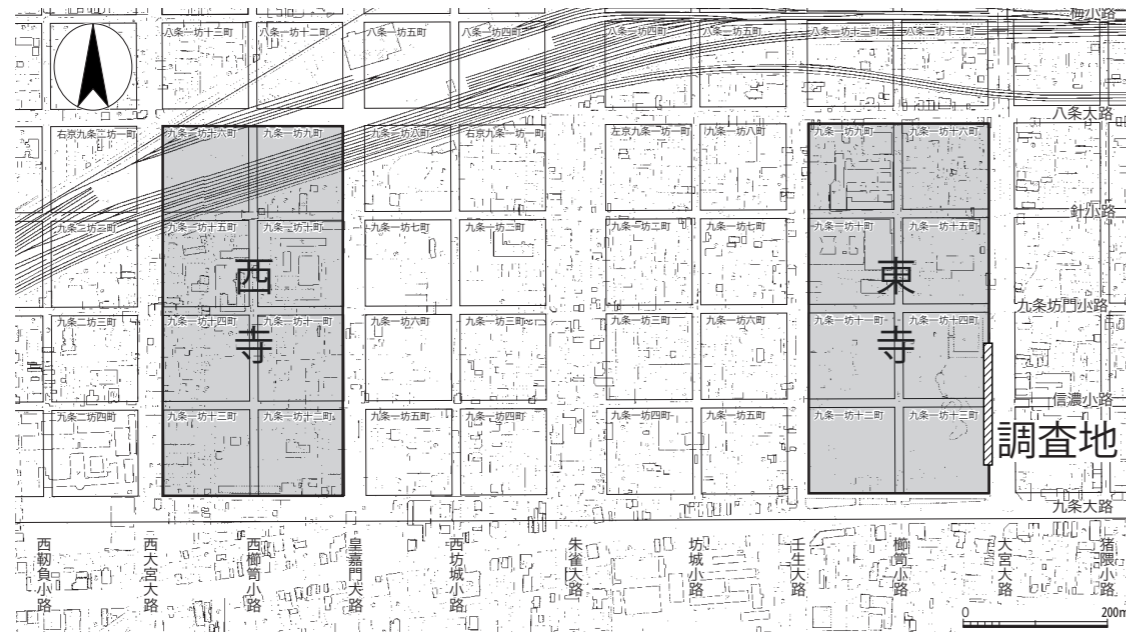


図1 調査地位置図

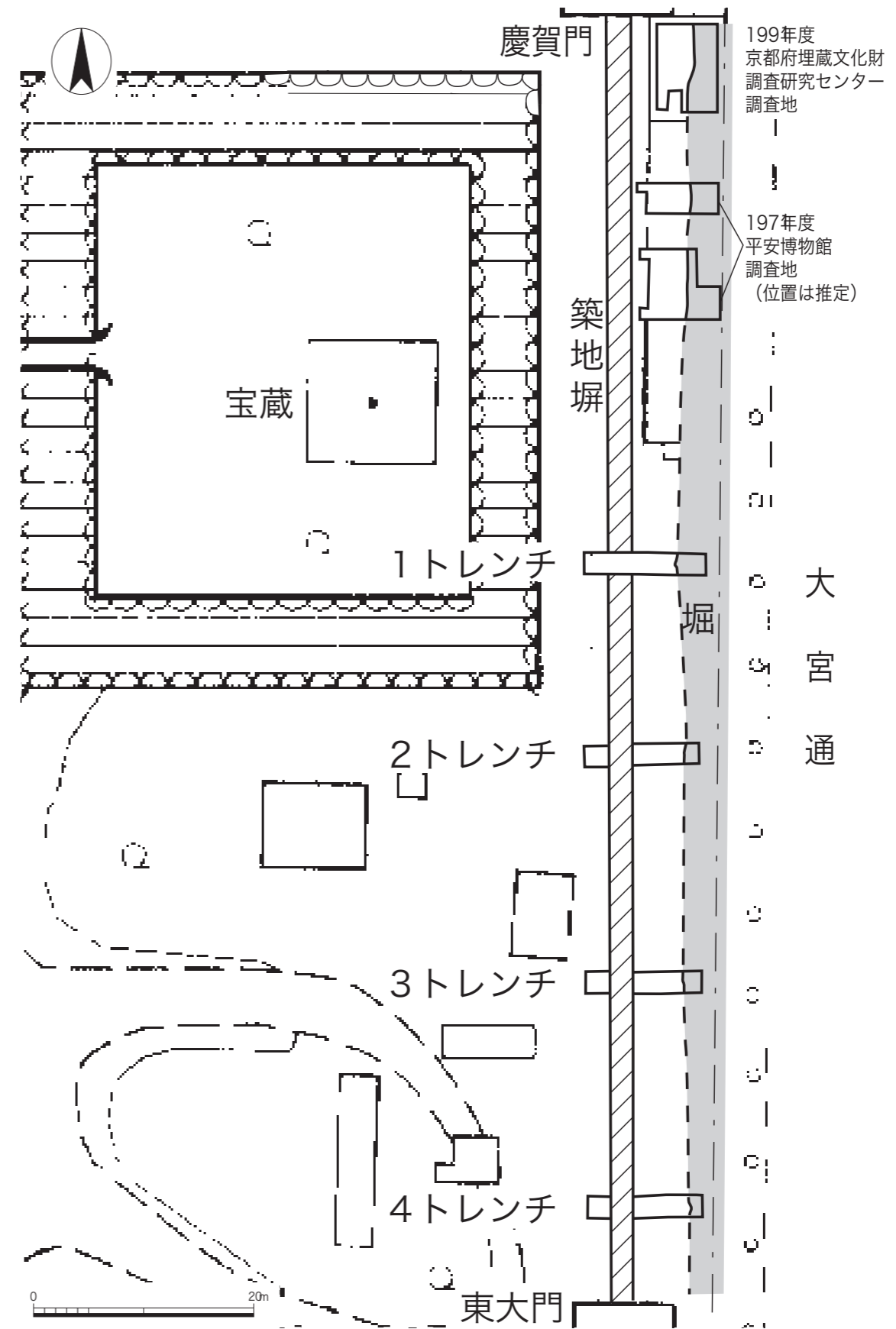


図3 東築地と堀との関係位置図

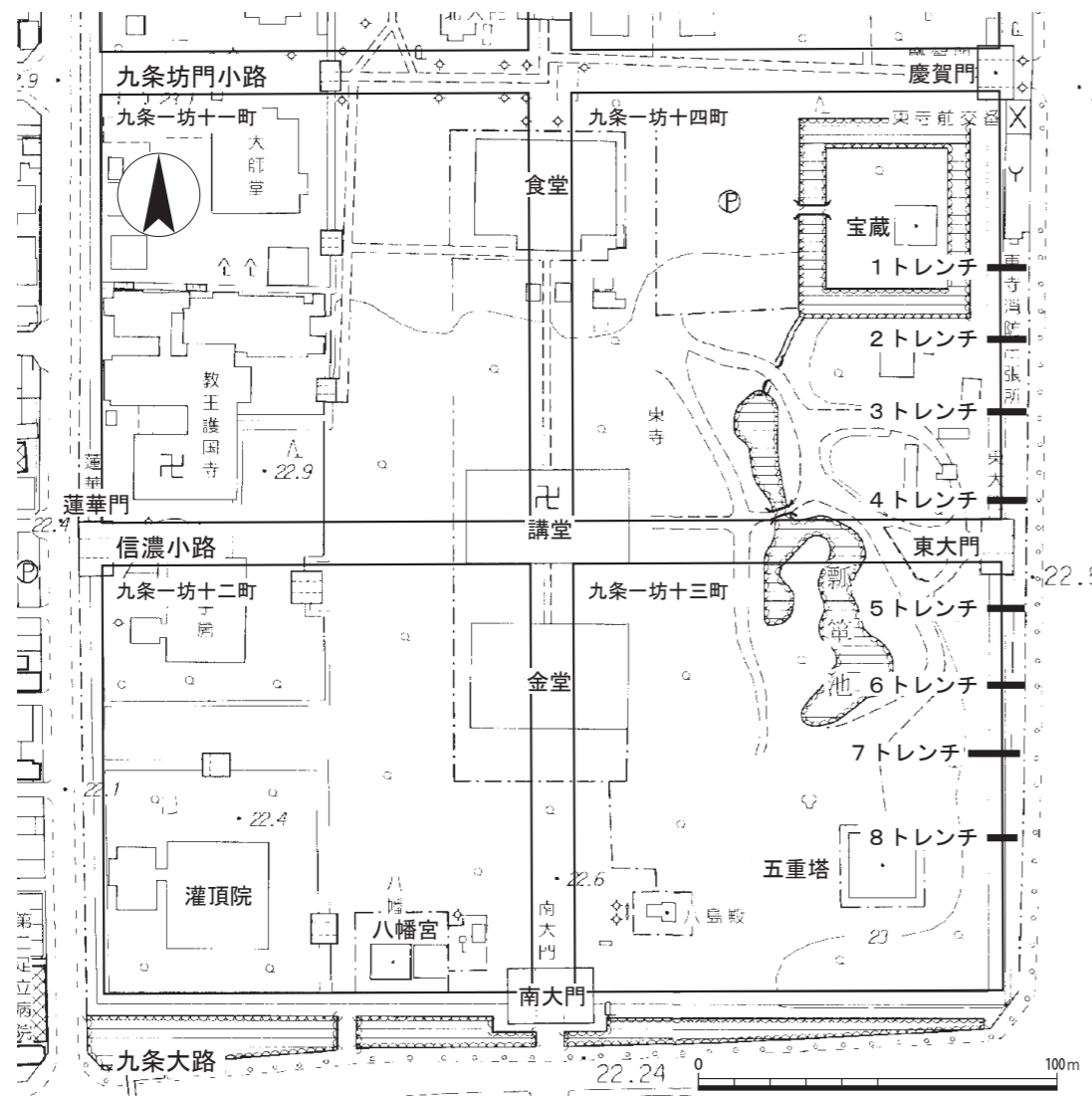


図2 調査区配置図

大藪遺跡発掘調査説明会資料

2011年3月12日

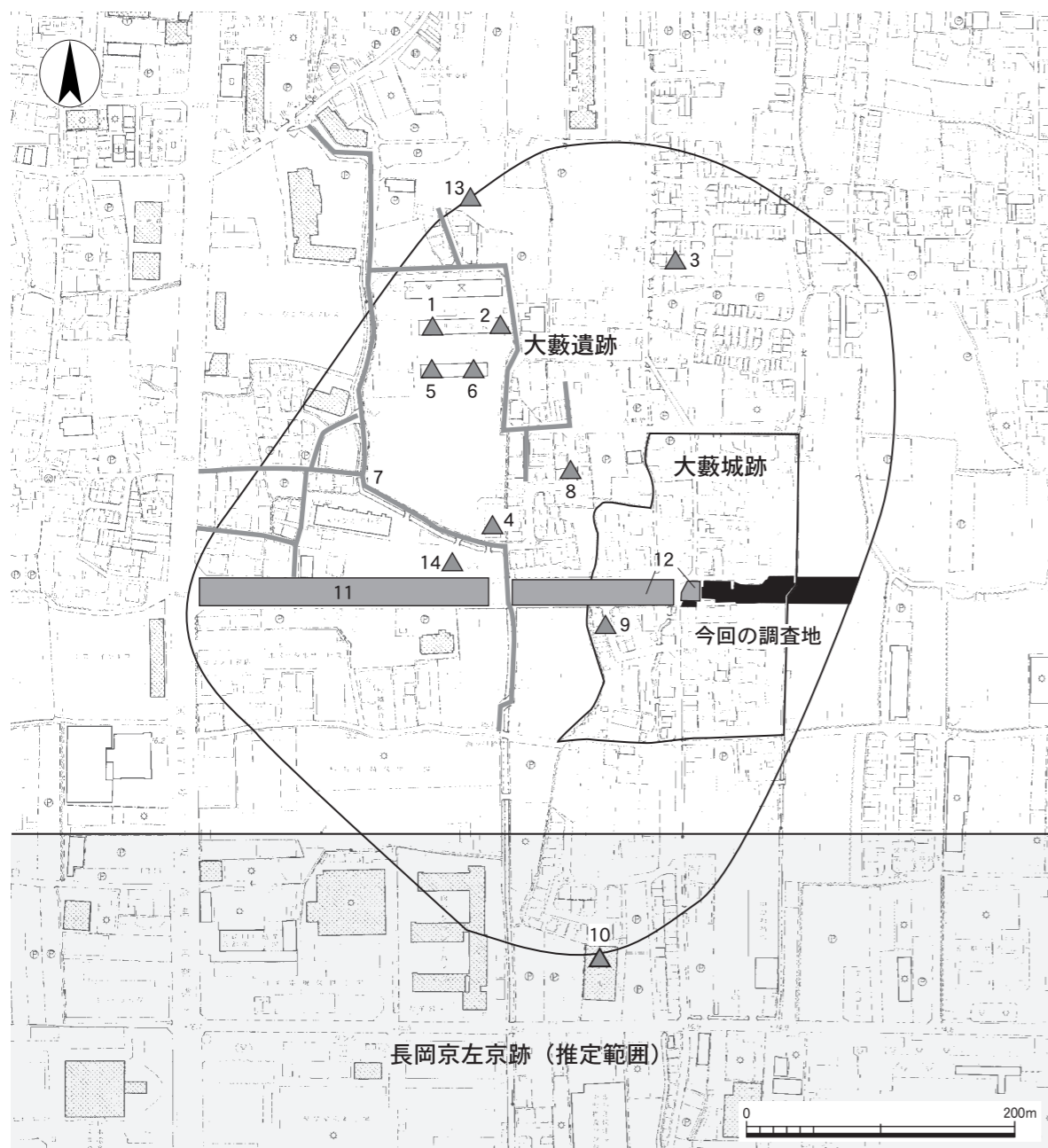
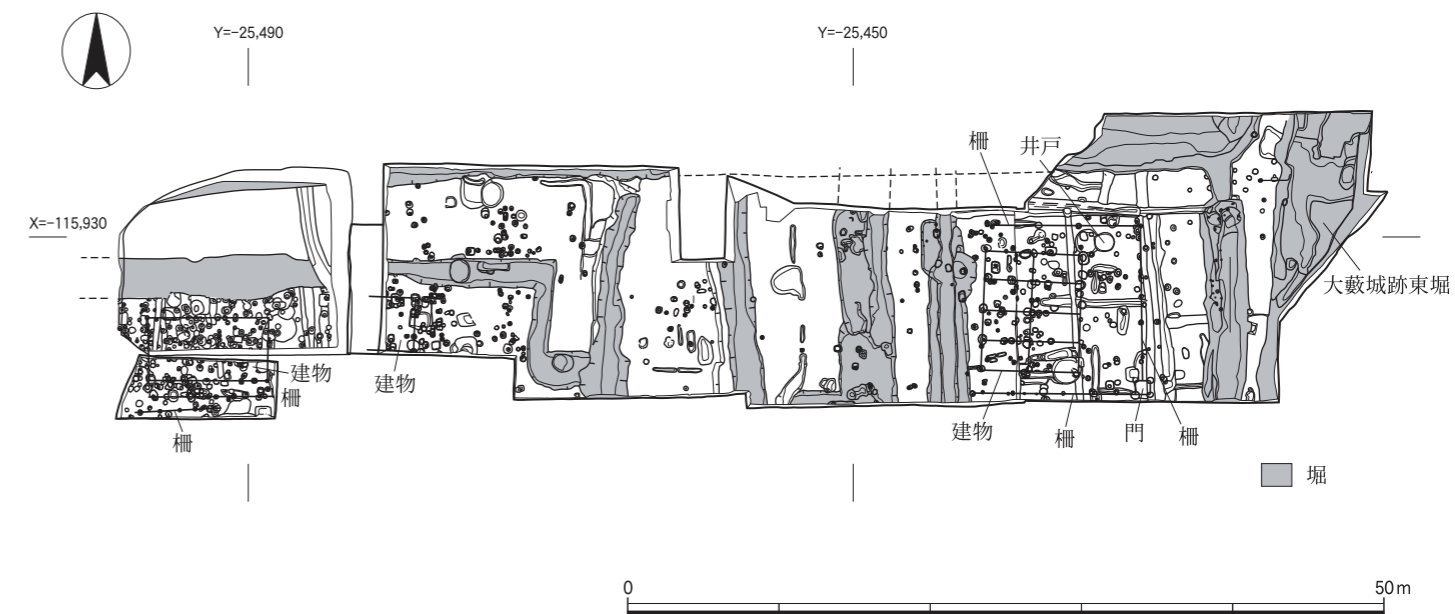


図1 調査位置図 (1 : 5,000)

水路西側



水路東側

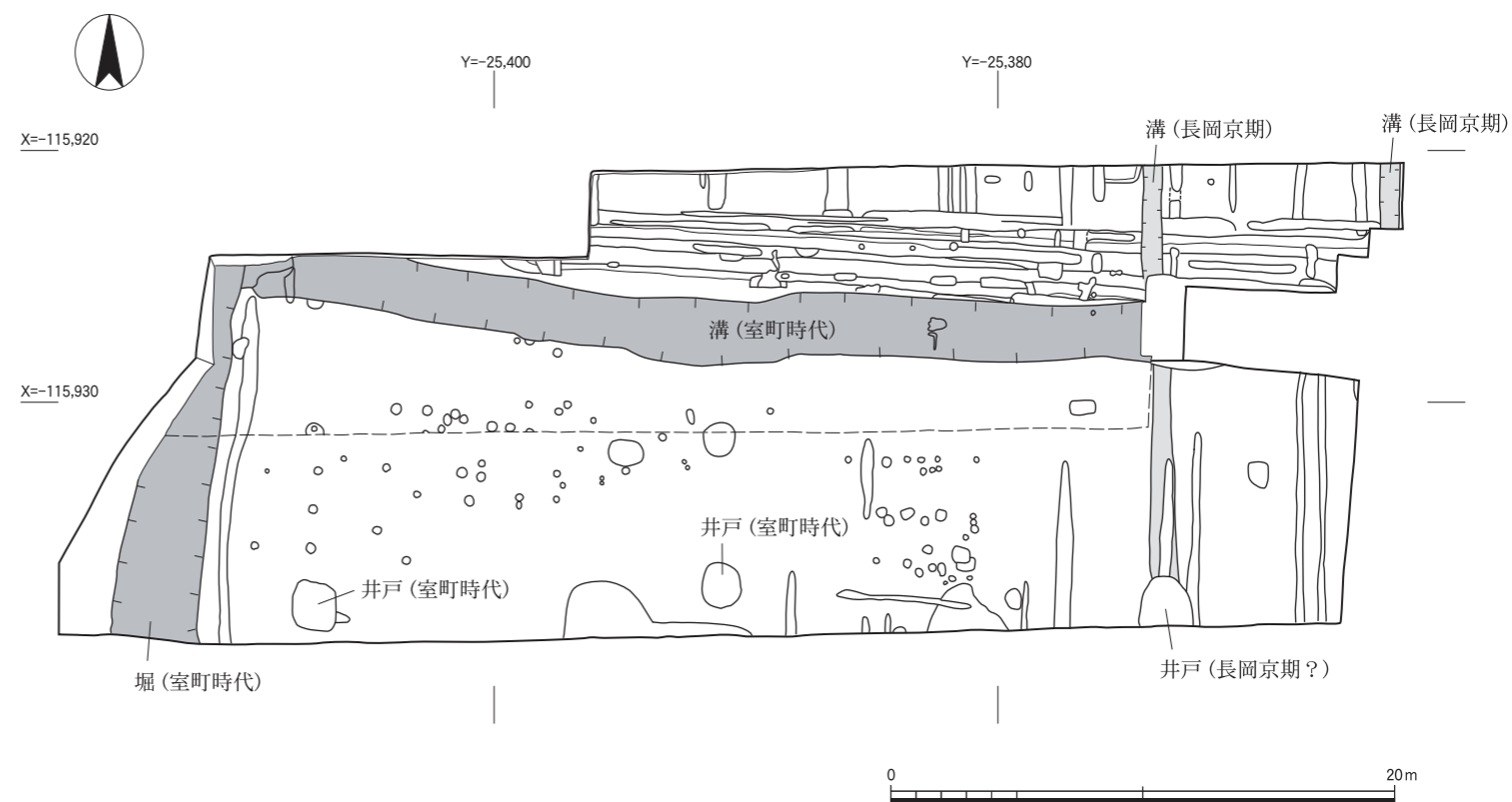


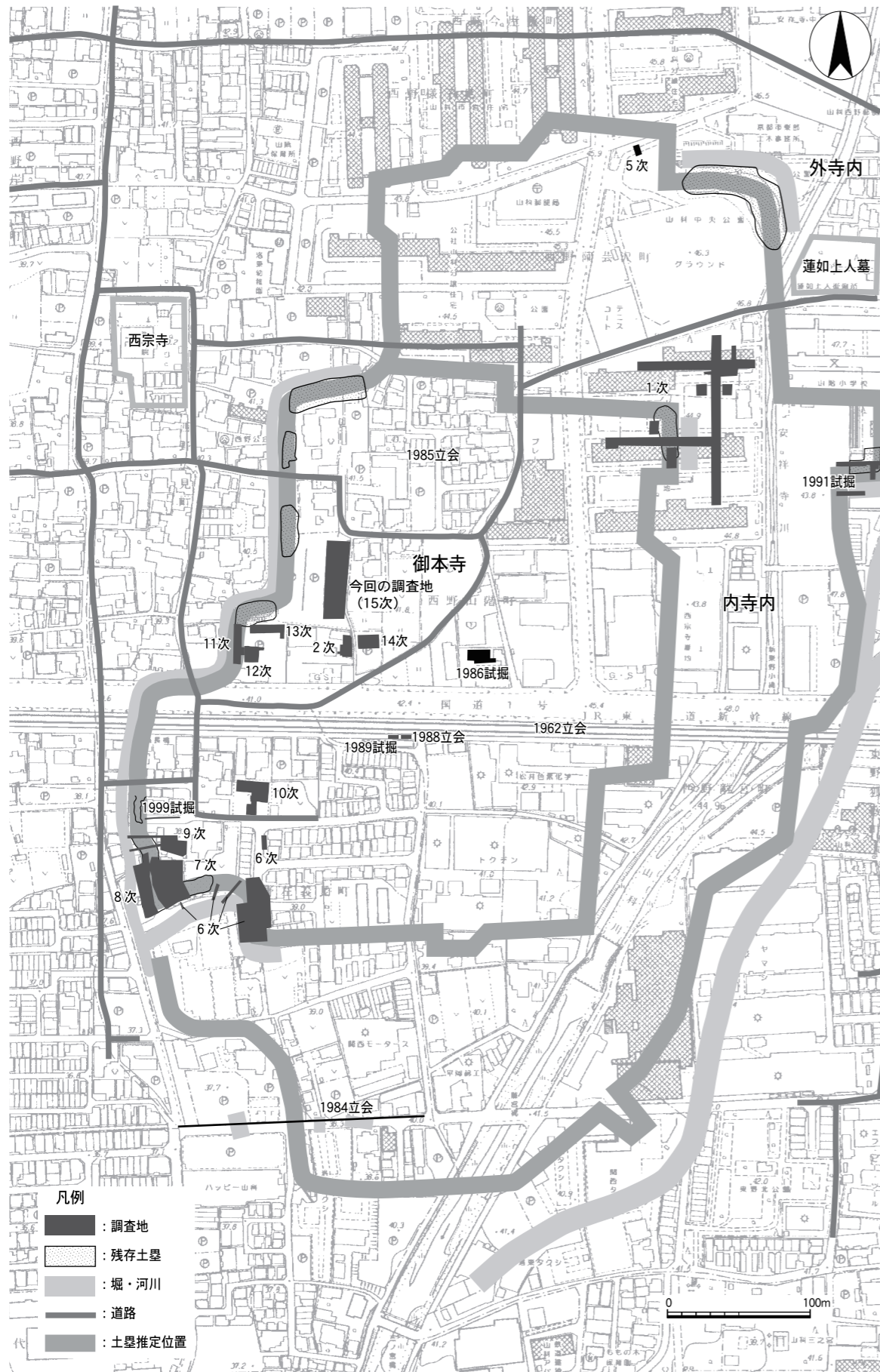
図2 調査地平面図 (上 1 : 500、下 1 : 300)

山科本願寺跡発掘調査現地公開資料

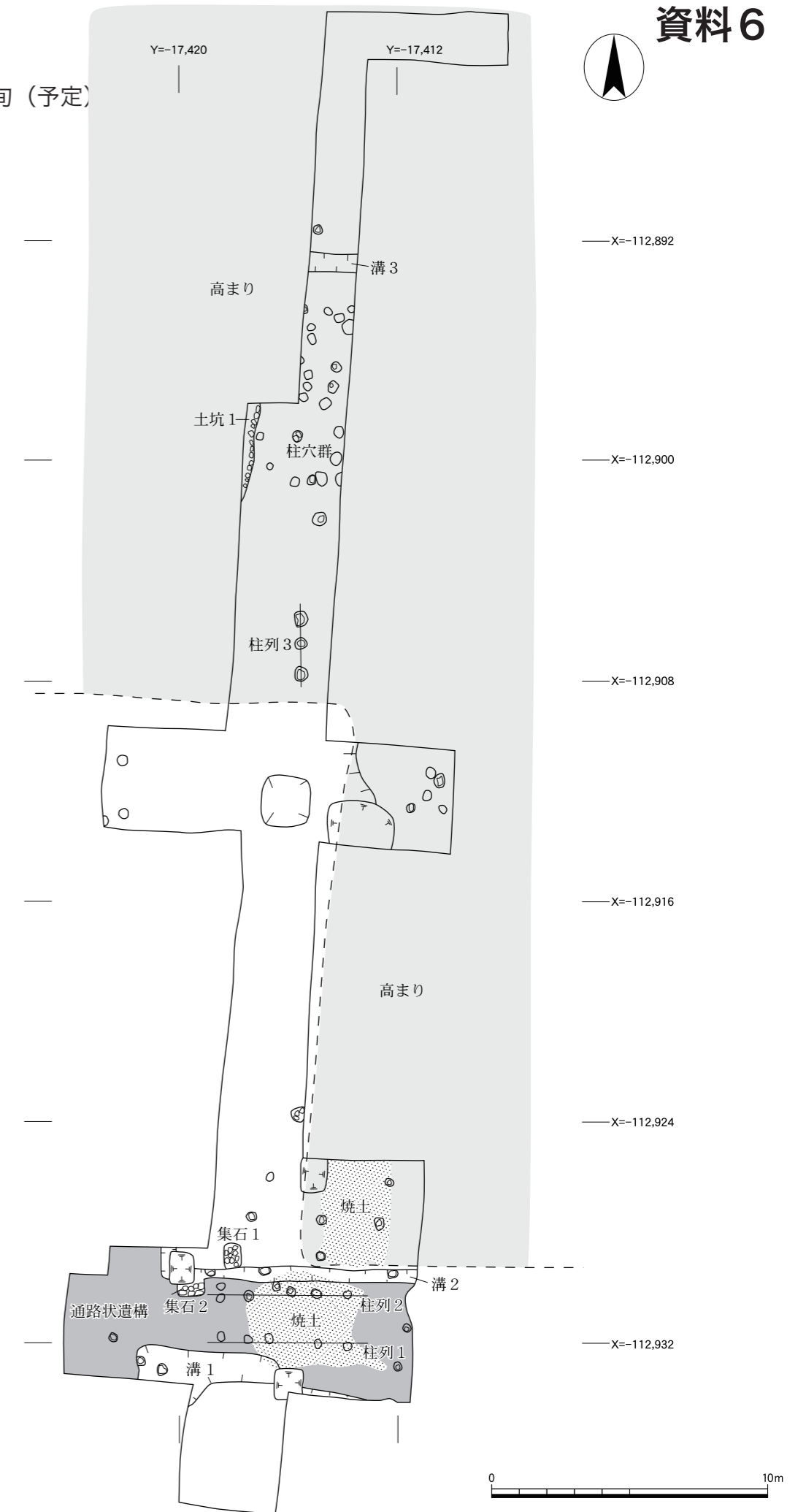
2011年2月18日

調査地：京都市山科区西野山階町地内

調査期間：2011年1月11日～2011年2月下旬（予定）



既往調査位置図（1：4,000）



遺構平面図（1：200）

山科本願寺略年表

応永22年 (1415)		本願寺七世存如の嫡子として蓮如が生まれる。
長祿元年 (1457)		蓮如、本願寺八世宗主となる。
文明3年 (1471)		蓮如、越前(現:福井県)吉崎に坊舎を構える。
7年 (1475)		蓮如、越前吉崎御坊を去る。
9年 (1477)		応仁、文明の乱一応終わる。
10年 (1478)	1月	蓮如、野村柴の庵に居す。馬屋新造。 山科本願寺の造営始まる。
11年 (1479)	1月	整地と作庭を始める。
	3月	向所を新造。
	4月	堺の古坊を移し、寢殿を造りはじめる。
	8月	庭ができる。
	12月	御影堂建設用材柱50余本などが山科に到着する。
12年 (1480)	1月	三帖敷の小御堂を作る。
	2月	御影堂造作事始め。
	3月	御影堂、棟上の祝。
	8月	ひわだ大工をよんで御影堂の檜皮を葺きはじめる。 仮仏壇を設けて、絵像の御影をうつす。 整地。
	11月	大津にあった根本御影を野村にうつし、山科ではじめて報恩講を催す。
	12月	吉野で阿弥陀堂用大柱20余本をあつらえる。
13年 (1481)	1月	寢殿の大門の柱が立つ。
	2月	阿弥陀堂の事始め。
	4月	阿弥陀堂棟上。
	6月	仮仏壇をつくって、本尊を据える。
14年 (1482)	1月	御影堂大門の事始め。 阿弥陀堂の橋隠の柱を用意。 阿弥陀堂の四方の柱も立つ。 大門の地形をならす。 四壁の内に排水用の小堀を南北に掘る。 門前の両所に橋をかける。
	4月	冬のたき火所だった四門の小棟を改築。
	5月	寢殿の天井をはる。
	6月	阿弥陀堂の仏壇をつくりなおす。
	7月	仏壇に奈良塗師を雇って塗らせる。
	9月	仏壇塗り終わる。
15年 (1483)	5月	河内誉田の野中之馬という瓦師をよんで、大葺屋をつくり、西山の土で瓦を焼く。
	8月	阿弥陀堂瓦葺き終わる。
長享2年 (1488)		加賀一向一揆起こる。
延徳元年 (1489)		山科南殿を造営する。
明応6年 (1497)		大坂石山坊舎造営。
8年 (1499)	2月20日	大坂から蓮如が山科南殿に戻る。
	3月25日	蓮如没す、85歳。
大永5年 (1525)		九世宗主実如没す。証如、十世宗主となる。
天文元年 (1532)	8月24日	法華宗・延暦寺・六角氏の攻撃により焼亡。山科本願寺陥落。
2年 (1533)		証如、石山坊舎を本寺と定める。本願寺大坂へ移転。
5年 (1536)	7月	天文法華の乱。
元龜元年 (1570)		織田信長との石山合戦開始。
天正8年 (1580)		本願寺顕如、信長と和睦。石山本願寺退去。 その後、本願寺が紀伊鷺森・泉貝塚・大坂天満と移転を繰り返す。
14年 (1586)		豊臣秀吉の朱印状をもって山科に寺領を回復する。
19年 (1591)		本願寺、京都七条堀川(現西本願寺)へ移転。
慶長7年 (1602)		東本願寺別立。このときから東・西本願寺となる。
享保年間 (1716~1736)		東・西本願寺がそれぞれ山科別院を建立。